

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

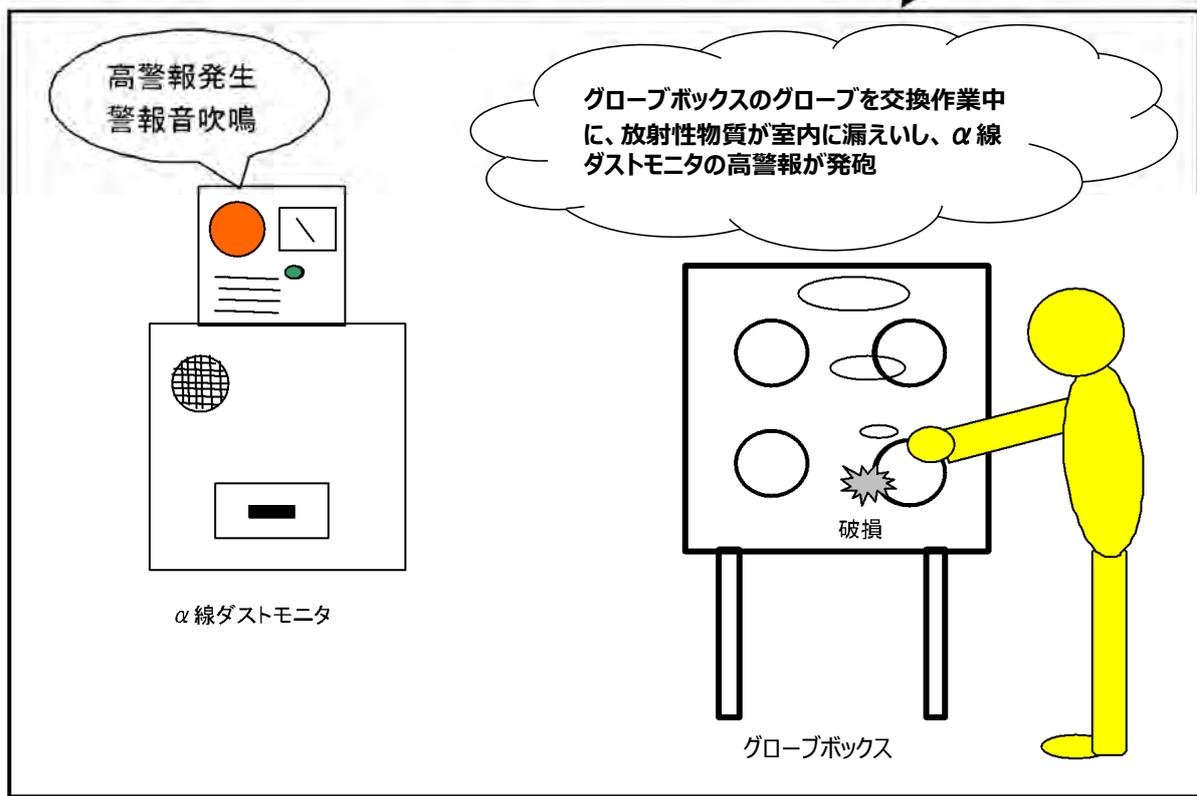
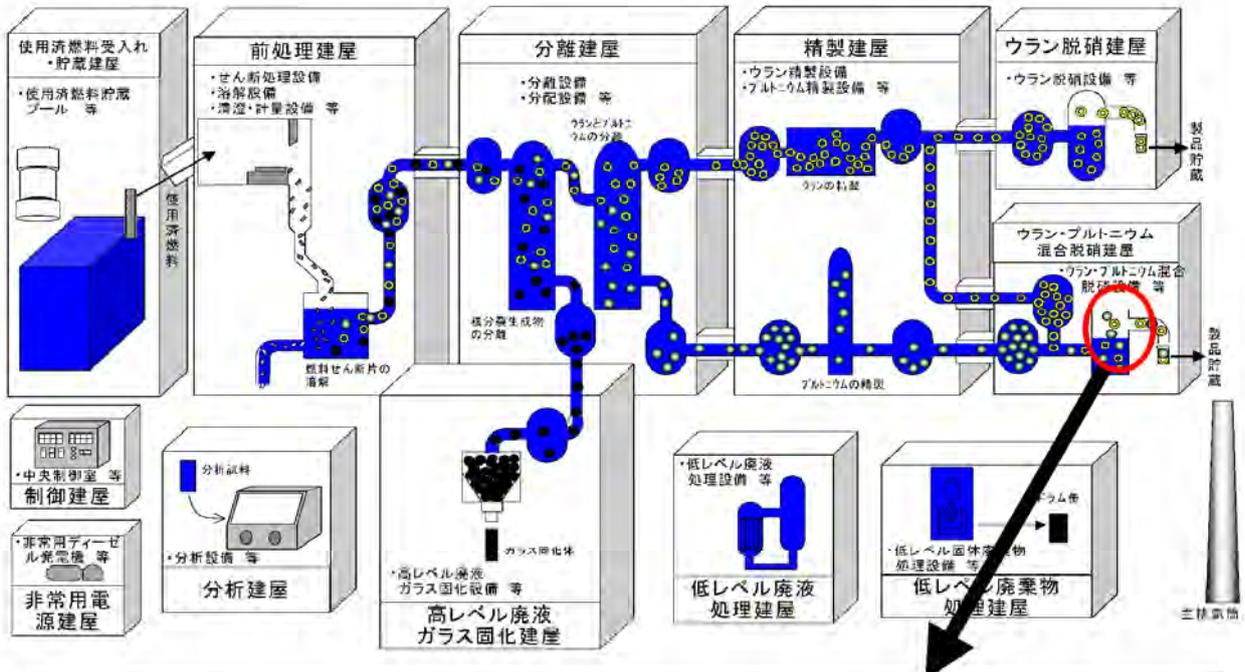
事象分類別 (f . 汚染)

6-18. グローブボックスのグローブ交換作業中における α (アルファ) 線ダストモニタの警報発報

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋：α (アルファ) 線ダストモニタ</p> <p>空気中の放射性物質 (α線を放出するもの) を測定するための装置。検出量が多い場合には警報を発報する。</p> <p>グローブボックスのグローブ交換作業中</p> <p>グローブボックスのグローブ交換作業中、放射性物質が室内に漏洩し、近傍のα (アルファ) 線ダストモニタの指示値が上昇し、高警報が発報。 * 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p> <p>不適切な手順による作業の実施や、交換するゴム製グローブの偶発的な破損。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有するウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備が稼働している室内での事象およびそれに伴う復旧作業のため、放射性物質放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 作業区域の汚染であり、グローブボックス内は負圧に保たれているため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに除染することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程に影響が発生しない。 汚染の除去が終わるまで、当該作業が影響を受けるが、他工程には影響は生じない。</p>												
<p>対応の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.グローブを正しい状態にセットする。 2.作業員の汚染、被ばくがないことを確認する。 3.定められた手順により区域の汚染除去を行う。 4.除染後、汚染の除去を確認する。 												
<p>公表区分</p>	<p>翌平日に公表 (ホームページへ掲載)</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 情報</td> <td style="background-color: #e0ffe0;">B 情報</td> <td>C 情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

* : 『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、 『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、 『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法
汚染区域の除染により復旧

